

令和元年度 子育てコミュニティトーク(5)幼稚園

日時 10月9日(水) 午前10時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム2

テーマ1「地域との関わり方について」

●こども未来部長

最近気になることとして、共働きの世帯、核家族が増え、仕事が忙しいこともあり、近所の方と話すなど地域での交流、ふれあいがとても少なくなったと感じています。

こういった背景により、厚木市では県内で初めて「子ども育成条例」を策定し、「地域全体が子育て家庭を支える、大きな家族になろう」という理念を掲げ環境整備を進めています。地域では、青少年健全育成会、子ども会、自治会などたくさんの方が、登下校時に見守りをするなど様々な方法で子育て世帯を見守っています。いざという時に顔の分かる関係はとても大事ですし、ぜひ地域の方々とのつながりを持っていただきたいと思っていますのですが、なかなかつながりが持ちにくい、という声も聴いています。

本日お聴きしたいこととして、1つ目は、地域全体で子どもを育てることに関して、日頃皆さんが感じていることをお聴きしたいと思います。2つ目は、関わりがなかなか持てない場合の理由をお聴きしたいと考えています。

地域の自治会や子ども会行事に参加しているのか、参加できない理由があれば、それを取り払い、地域に溶け込んでほしいと思っています。

●子どもが産まれる前は地域の活動に参加していませんでしたが、子どもが産まれてからは、家族で防災訓練や地域の運動会に参加して、地域の人たちと交流しています。

●子どもがまだ小さいので、今のところ地域の人たちと関わる機会はありません。同じマンション内で小学生の子どもを持つ親の話を聴くと、やはり子どもが小学生になってから地域との関わりがでてくるとのことでした。

●子ども会に入っていないませんが、宅地分譲された近所の人たちと交流があります。

●昨年までは子ども会に入っていましたが、子ども会の活動場所まで遠くて参加することが大変だったので、今年は子ども会に入りませんでした。小さい子どもを連れて地域の運動会などに参加することは難しいです。地域の人たちと関わりを持つことは大切だと考えているので、小学生になったら参加していきたいと思っています。

●マンションに住んでいますが、地域の情報が何も入ってきません。子ども会があることも知りませんでした。転勤が多いので、地域に知っている人も頼れる人もいません。近所の公園で遊んでいた時に、小学生の子どもと一緒に遊んでくれたことがありました。地域の子ども同士で遊ぶことは大切なことだと思っています。地域の子育て世代の人たちと関わりを持ちたいと思ってい

ます。

●教育総務部長

児童館に行くと、子どもと一緒に参加できる催しを通じて、子育て世代の親と関わりが持てるようになります。また、児童館には指導員がいて何かあったときに頼れる場所になると思いますので、是非、お近くの児童館に足を運んでみてください。

●森の里地区は子どもが少なくなって地域に住む人の高齢化が進んでいると感じます。引っ越してきた時は、知り合いがいませんでしたが、午前中に児童館に行って、地域の子育て世代同士で知り合いになって、やっと地域に馴染んできたと思っています。ちょっとした用事があるときは、子どもを預かったり預けたりできる関係になりました。これからも身近な人たちとのつながりを増やしていきたいと思っています。

●知り合いが自治会や子ども会に入っていないこともあり、今はどちらにも入っていません。役員は大変だと思いますが、それ以上に得ることもあると聞いたことがあるので、下の子どもが小学生になったときに、子ども会などに参加したいと思っています。

●住んでいる地区には子ども会がなく、少し離れた地区の子ども会に入っていましたが、移動が大変なことや小学生を対象とした催しが多く、また、未就学の子どもを連れて参加すると周囲の人に気を遣うので1年で退会しました。ファミリー向けの賃貸住宅に住んでいても、住んでいる地区によって地域のお知らせが届かないこともありました。同じ厚木市内でも地域活動に差があると感じました。

●地域の人たちと関わりを持ちたいと思っていますが、どうすれば良いでしょう。

●社会教育部長

児童館や公民館には様々な催しのチラシがありますので、何回か続けて参加すると地域の人と関わりがでてくると思います。

●教育総務部長

児童館では、乳幼児と保護者同士の交流の場として、平日の午前中に児童館を開放する「おひさまタイム」というものがあります。未就学児を対象とした催しも開催しておりますので、是非参加してみてください。

●教育長

子どもが小学生になると、世界観も広がりますし、親同士の関わりも出てきます。さらに、地域や学校との関わりも増えてきますので、人付き合いが苦手な保護者の方もいると思いますが、子どもの成長につれて親が置かれている状況も変わってくるということを意識してほしいと思います。

●こども未来部長

子どもの数が少なくなっている地域では、子ども会がなくなってしまうたり、他の地区の子ども会に統合されたり、自治会の子ども部として活動したりしている地域などもあります。子どもが小さい今は地域の人たちと関わりが持てなくても、子どもの成長など環境が変わっていくなかで、地域とのつながりを持ってほしいと思っています。

テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●社会教育部長

大きなテーマですので、パソコンやスマートフォン（以下、スマホ）について絞った内容でお伺いしていきたいと思います。今のお子さんは、生まれた時から、パソコンやスマホがある暮らしをしています。スマホ所持の低年齢化が進んでいると感じています。現代では、スマホ、パソコン、タブレット型 PC（以下、タブレット）などは、便利で生活の必需品になってきていると感じますが、その反面、様々なトラブルを引き起こすなどの危険性も持ち合わせています。そういった中で、お子様に対して、スマホやタブレットなどをどういった使い方をされているか、これから何歳ごろに持たせようと考えられているかなど、皆様の考えを聴かせていただきたいと思います。また、お子さんとの約束事などがあればお話しいただきたいです。

●周囲には、スマホを持っている子どもが何人かいて無料通話アプリを利用しています。我が家では来年中学生になる子どもがいますが、スマホを持たせようか検討しているところです。大人でもスマホを使う時間が多くなって目が疲れるので、子どもにはもっと影響があるのかなど心配しています。上の中学生の子どもは動画サイトをあまり見ませんが、下の幼稚園の子どもはとても興味をもっていて、音声認識の機能を使って見たい動画を一人で検索して見えています。

●子どもはまだ小さいので、今のところ子どもにスマホを持たせることは考えていません。周囲の話を聴いていると、スマホを持つことによる悪い影響もあると思いますが、子どもと離れていても居場所が分かる GPS 機能などは便利だと思います。習い事などで親と離れて過ごす時間が多くなったら、子どもにスマホを持たせるか検討したいと思います。

●同じく子どもはまだ小さいので、今のところスマホを持たせることは考えていません。テレビを見る時間も自分で時間を決めて切り替えることが難しい年頃です。スマホの利用は、外出先について調べるときに子どもに見せていますが、基本的には、子ども一人ではスマホの操作をしないようにしています。

●子どもには、タブレット型 PC を渡しています。親の方針として、早目に子どもにスマホなどを与え、いろいろな SNS をどんどん利用してほしいと思っています。電子機器の使い方や SNS をどのように使うと怖い目に会ってしまうかなどの経験を、小さいうちから学んでほしいと思っています。親の言うことを聴かなくなる前に、小さいうちから実際に機器を使いながら教えていきたいと思っています。いろいろな SNS の使い方や関わり方、書かれている情報の信頼性や、こういう人とはやりとりしない方がよいなどの感覚を身につけてもらいたいと思っています。

私たちが子どもの頃とは時代が違います。インターネット上の友だちもこれからは大切になってくるかと思います。

子ども向けの動画サイトには、利用時間やアクセス制限をすることや、個別にブロックできる機能を使って子どもに見せています。一般の動画サイトの中には、子どもが好きなキャラクターを使って、残虐なものを見せる番組もあるようなので注意が必要だと思います。

最初は、子どもが動画サイトに夢中になってしまって、長時間視聴していましたが、最近では飽きてしまったのか、自分で興味のあるものをある程度見ると、自分で見るのをやめるようになりました。

●社会教育部長

新たな視点と御意見をいただきました。SNS などを利用する機会が多いですか。

●パソコンや SNS を利用する仕事をしています。おそらく興味のある子どもが、親は知らないまま、SNS 上でやりとりをしています。SNS をある程度利用していると、この書き込みは子どもの書き込みだとか、無防備だとかがなんとなく分かるようになってきます。SNS の利用や危険性について、学校の教育を待っていたら遅いと思います。

●教育長

以前は中学生向けにスマホ教室を実施していましたが、子どもを取り巻く環境がどんどん変わってきているので、小学3~4年生からスマホ教室を実施するようにしました。しかし、今のお話を聴いて、もっと早めなければいけないのかなと感じました。

●SNS 上の危険からどのように子どもを守るかについては、親の世代が SNS を利用している人が少ないため、子どもに教えることは難しいのではないのでしょうか。

●学校教育部長

学校でのスマホ教室の内容としては、正しく怖がらせて正しく使わせましょうという方針です。積極的に使っていくような内容ではない状況です。保護者への案内についても、まずは、アクセス制限などを設定しましょうという段階です。これからは、子どもたちにとって早い段階からなくてはならないものになって、スマホ所持の低年齢化が進んでいくと思いますので、今のお話は大変参考になりました。

●小学校からプログラミングの授業が始まると聞きました。ゲームなどから学ぶこともあるのではないかと考えていますが、依存が心配です。子どもがプログラミング教室に通い始めましたが、楽しく学んでいるようです。親世代がプログラミングについて理解していないので、手探り状態です。

親が心配性なので、子どもが遊びに行くときに一緒に出掛けていましたが、子どもの自立心を育てるため、娘が小学3年生のときにキッズ携帯を持たせました。子どもの行動範囲が広がっていたので、電話と GPS 機能があれば十分でした。

上の子どもはスマホの無料通話アプリを利用していますが、いじめのようなやり取りを見たこ

とがあります。子どもにとっては、まだ相手の気持ちを考えてメールで意思をやりとりするのは難しい部分もあると思います。良かれと思って友だちの電話番号を教えてしまうことや、動画サイトに顔出しすることは大きな影響があるということを、子どもはまだ理解していません。

●学校教育部長

子どもの無料通話アプリでのやり取りで、「なんで来るの」といったことが、メッセージを送った側は、どういう手段で来るのかを聞いたつもりが、受け手側は、「私が行ってはいけないのかな」と受け取ってトラブルになってしまった事例もあります。小さいうちからそういうことが起こっているので、子ども向けのスマホ教室などでも伝えていきたいと思います。

●小学生の子どもにもまだスマホを持たせていませんが、中学生では部活の連絡など無料通話アプリでしていると聞くので、中学校に上がる頃に子どもにスマホを持たせようと思います。

●子どもがまだ小さく、動画サイトにもあまり興味がないので、まだ制限をかけて利用することはありません。スマホを通じたコミュニケーションがこれからはますます進んでいくと思いますが、顔が見えるコミュニケーションを大事にしていきたいと考えています。

●皆さんのお話を聴くと、我が家の様子は違っています。上の子どもが小学生ですが、学校から帰宅しても休みの日も、ずっと外で遊んでいるタイプの子供です。外で全力で遊んで、ご飯を食べて、お風呂に入って、あっという間に寝てしまうので、動画サイトなどを見る時間がなかなかとれないです。上の子どもの行動範囲が広がってきていますが、下の子どもが幼稚園でなかなかついていけないので、上の子どもにはキッズ携帯を持たせています。周囲の話では、中学生の部活の連絡は無料通話アプリでしていると聴きますので、その頃には子どもにスマホを持たせるようになると思います。

●学校教育部長

中学生になると子どもがスマホを持ちたいので、みんなが持っているからスマホを持ちたいと言ってくるという話を良く聞きます。現状としては、部活動の連絡は顧問から保護者に連絡をしている状況ですので、本当に中学生の子どもが持たなければいけない状況かということでもないと思います。現在、中学生のスマホの所持率は3分の2程度となっています。

●教育長

子どものタイプもあると思いますが、意見交換を通じて色々なやり方・考え方があることが良く分かりました。今後については、ますますスマホなどの電子機器を使って生活していくようになると思います。子どもにスマホを持たせることについては、良い点も悪い点もあるので、悪い面もしっかりと子どもに教えておかないと、取り返しのつかない事態になってしまうこともあるということを認識したうえで持たせてほしいと思います。

基本的には、生徒が小・中学校へスマホを持込むことはできませんし、子どもの無料通話アプリの内容を見ることが出来るのは親だけです。スマホを持たせるときに子どもとの約束や、何か困ったことがあったら親に相談できる関係をつくってほしいと思います。親子で解決できな

い問題はすぐに学校にも知らせていただければ、対応していきます。

●市長

限られた時間でしたが、活発な意見交換ができたと思います。スマホの利用については、軽い気持ちで写真を投稿したところ家の場所が分かってしまったり、SNS を通じて子どもが誘い出されたりするリスクが大きくなっていきます。便利なものですが危険な面もあるということをしっかりと意識して利用していくしかないと思います。

見守り活動は、地域の皆さんの御協力でできています。その原点は、市民協働です。まちが良くなるかならないかは、そこに住んでいる人たちと同じ思いで、地域の課題を見つけ、協力して取り組まなければできないことです。社会は人とのつながりが希薄化する方向に動いていますが、つながりがある地域には温かみを感じますし、自分が子どものとき、地域とどのような関わりがあったか振り返ってもらい、人と人がつながってコミュニティをつくっていくこと、子どもたちにつないでいくことが求められていると思います。今回の意見交換では皆さんからのメッセージを受け取りましたので、市政の参考にしていきます。ありがとうございました。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。